

キングカメハメハ



産駒No.7

早来産。エルコンドルパサーに続き、名種牡馬キングマンボが日本で送った第二のセンセーション。NHKマイルCと日本ダービーをレースレコードで制し、史上初の“変則2冠”を達成した。初年度産駒が4歳に達した2010年、マンハッタンカフェの後を襲ってチャンピオンサイアーに輝き、昨年もその座を堅持。現状では非サンデーサイレンス系の旗頭的存在だ。芝・ダート、距離の長短を問わずに活躍馬をコンスタントに送っており、今年ルルーシップが香港G1を、ハタノヴァンクールがジャパンダートダービーを制している。

競走成績 8戦7勝(1600m~2400m)

年齢	国	出走	1着	2着	3着
2歳	日	2	2	-	-
3歳	日	6	5	0	1

■3歳時

1着	ダービー-JPN1
1着	NHKマイルC-JPN1
1着	神戸新聞杯-JPN2
1着	毎日杯-JPN3

芝2400m
芝1600m
芝2000m
芝2000m

代表産駒(母の父と主な成績)

ルルーシップ(トニービン:香港クイーンエリザベス二世C-G1、アメリカJCC-G2)
ローズキングダム(サンデーサイレンス:ジャパンC-G1、朝日杯フューチュリティS-G1)
アパパネ(Salt Lake:牝馬三冠、ヴィクトリアマイル-G1、阪神ジュベナイルフィリーズ-JPN1)
ハタノヴァンクール(ブライアンズタイム:ジャパンダートダービー-JPN1、端午S-OP、伏竜S-OP)
トゥザグローリー(サンデーサイレンス:京都記念-G2、日経賞-G2、日経新春杯-G2)
ソリタリーキング(サンデーサイレンス:東海S-G2、ブリリアントS-OP、レパードS 3着)
ゴールデンチケット(サンデーサイレンス:兵庫チャンピオンシップ-JPN2、JCダート-G1 3着)
フィフスペトル(Bahri:京成杯オータムH-G3、函館2歳S-JPN3、朝日杯FS-JPN1 2着)
ロードカナロア(Storm Cat:京阪杯-G3、シルクロードS-G3、高松宮記念-G1 3着)
レディアルパローザ(Tejano Run:中山牝馬S-G3・2回、ヴィクトリアマイル-G1 3着)